

○委員長（菊川敬人）

議案第15号 平成29年度開成町下水道事業特別会計予算を議題とします。下水道事業特別会計の歳入歳出について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番委員、山田貴弘です。予算書237ページ、下水道使用料についてお聞きしたいと思います。2億2,500万円という使用料の収入がある中で、一般家庭分と工業系排水分について、説明されたところですが、町の開発により、比率的な部分というのは変わってきていると思うのですよ。そのような中で、今の現状というのですか。工業誘致については、企業誘致が成功した中で、排水の接続等も今後考えられると思うのですが、現況、もう少し詳しく教えていただきたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道管理担当副主幹（川口浩一）

上下水道課、川口です。ただいまの質問にお答えいたします。

現況につきましては、平成28年度の下水道使用料増額に伴いまして、補正予算を計上させていただきました。平成29年度の当初予算を計上するにあたりまして、平成28年度の下水道使用料の大幅な増となった事業所へ平成29年度下水道への流入予定水量を伺った結果、現行の流入水量と変わらないことを確認いたしました。この事業所の増加分を見込み、予算に反映した結果、平成29年度の増額というような結果で予算計上させていただいております。

今後の見通しということで、一般家庭につきましては、使用の件数は増加する見込みでございます。ただし、1軒当たりの使用水量がこちら減ってきてございますので、使用料収入については、一般家庭分については、緩やかに減少していく予定となっております。

あと平成29年度の新規接続分につきましては、約100件を見込んでございます。そのうち、リーフィア開成、こちらにつきましては、63件の接続があるという内訳になってございます。

工業系につきましては、みなみ地区に1社、大きな業者が来まして、そちらについての影響なんです、平成30年度に使用開始予定のため、平成29年度の予算には反映しておりません。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番委員、山田貴弘です。やはり下水道事業については、使用料となる原資の部分が上がらないと、なかなか運営というのが厳しくなってきますので、下水道の接続を促しながら、件数の増加を図っていただきたいと思います。お願いします。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

9番、井上です。予算書の242ページ、243ページ、一般管理費1番についてでございます。説明欄1の経常的一般管理費の1項目め、下水道運営審議会委員報酬8人分が8万8,000円計上されておりますけれども、この下水道運営審議会で、現在審議されている内容について、支障がなければ御説明をお願いいたします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道管理担当副主幹（川口浩一）

上下水道課、川口です。ただいまの質問にお答えいたします。ただいま審議内容について御質問いただいたのですが、平成29年度の予定を御説明させていただきます。平成29年度につきましては、平成26年度に下水道使用料の値上げを実施してから3年が経過した年度になってございますので、そちらの見直しについて検討をしていく予定となっております。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。ちょっと今の質問に補足させていただきます。審議内容として、あともう一点、来年、アクションプランというものが、歳出に載っています。アクションプランの今後を説明させていただきます。それも審議の内容の一つ加えて、来年審議をしていきたいと思っております。

以上になります。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

9番、井上です。そうしますと、年3回開催予定されておりますけれども、値上げの件とアクションプランの件が、この3回の中で打ち合わせされているということの解釈でよろしいでしょうか。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

ちょっと補足をさせていただきます。下水道料金につきましては、値上げではなくて、今の料金で適正かどうかという部分での審議会での審議をお諮りしているということと考えております。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

失礼いたしました。ちょっと私のほうでも言葉の訂正をさせていただきます。さて、ちょうどアクションプランの件もちょうど出ましたので、これについてはいつ頃プランがある程度まとまった上で出されるのでしょうか。その時期、お願いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。今の御質問にお答えさせていただきます。アクションプランの作成の時期につきまして、一応、これは国交省からの委託の事業をしているのですが、50%、国交省いただいて、その国交省も来年度までということになっております。それを見据えて、来年度1年間、事業内容を詰めていきながら、来年度末、30年末には、そのものを策定していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

佐々木委員。

○1番（佐々木昇）

今のアクションプランのところで関連の質問なんですけれども、今、国交省からというようなお話がありましたけれども、今まで中長期的な計画というようなところだと思うんですけれども、これは今までここで作成する機会があったんですけれども、ちょっと今、国交省の話もありましたけれども、なぜ、この時期だったのか、まず、一つ確認させてください。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。今の御質問にお答えさせていただきます。国交省は来年で終わりで、開成町でやっていくということは、まだ、大きい市町村が動いていて、小さい市町村は動いていない状況もありまして、周りの状況を見ながら、最終年度になるのですけれども、開成町では、来年1年で策定をしていきたいという考えで、周りの状況を見ながら、事業を進めていきたいと思っておりました。

○委員長（菊川敬人）

佐々木委員。

○1番（佐々木昇）

今、周りの状況というような話もあったんですけれども、このアクションプラン策定、県然り、あと広域的な、今後、事業も広域的なところだというような考えもあるのですけれども、その辺の絡みも含めた中でというのがあるのですか。その辺、ちょっと確認させてください。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

アクションプランにつきましては、先程、副主幹から報告がありましたように、周辺の市、町の状況を踏まえながら、開成町でも、来年度、最終年度になるのですけれども、それを実施ということで、委員の御質問に、今後の事業の広域化という話の中では、今現在は、お互いに酒匂川流域下水道に処理の委託をしている部分での処理関係は広域的なものを行っていると考えています。

整備につきましては、各市、町の考えという中で、整備につきましてはのアクションプランを策定した中で、広域というような話はまだ考えてはおりません。やはり開成町は、周辺の市、町に比べまして、二次的な要因の中でもちょっと整備がおくれている状況がありますので、その中で今後、どういう整備を進めていくかというものをこのアクションプランの中で策定していきたいと考えてございます。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

予算書の242ページ、243ページ、2番の施設管理費の説明欄1、施設管理費の4項目め、水質検査委託料が80万円計上されております。また、説明資料の58ページ、59ページの内容欄上から三つ目ですけれども、ここに汚水流入量の多い特定事業場というのでしょうか。4カ所となっていますけれども、この4カ所はどこになるのか。支障がなければ教えていただけませんか。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。今の御質問にお答えさせていただきます。一応会社の名前になりますので、なんですけれども、大きい会社でして、一つはクレシアさんですね。もう一つは富士ゼロックスさん。あとは富士フイルムの宮台研究所さん、最後は富士フイルム先進研究所さんの四つの事業所になります。

以上になります。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

ありがとうございます。

今までの水質検査をやっているかと思えますけれども、過去の水質検査の結果と、平成29年度に行う水質検査の中で懸念材料というのはあるのでしょうか。特に今までも問題なくでしょうか。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

水質検査の結果につきまして、一応こちらは、流域下水道の処理の関係でどういうものが流れているかという部分での水質検査という部分があります。そちらの中で懸

念材料という部分では、今まで報告というのはありませんでした。基準内というのと、基準の中で今までなかったものが水質的に見つかったという中では報告はありますけれども、懸念材料という点では、今のところありません。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

今、過去、一部終わった後、私の住んでいる家の近くの会社において、南側に流れる水質検査ということで、結構住民も気にした時代があったんですけども、その後、一切、そういう住民から懸念の情報がありませんので、この2、3年においても、全くありませんので、今の答弁と同じように、特に現在の開成町においての気になる水質検査の結果は良好であるという判断をさせていただきます。ありがとうございます。

○委員長（菊川敬人）

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番委員、山田貴弘です。これは予算の全体の部分で係るとは思うのですが、予備費というところで聞きたいと思います、247ページ。下水管については、長い年月の中で古いところから新しいところもあるという中で、耐震に備えた中で、今後は改修等していかなきゃいけないという中で、もし、これは事故というか、陥没等、よくあると思うんですけども、そこら辺の復旧に対する工事予算というのは、予備費対応で考えているのかどうか。小さな工事の場合はいいのですが、大きなこういう損失が出た場合に、どのような対応を予算書の区分の中でされるのか、答弁をお願いします。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝巳）

委員の御質問にお答えします。緊急な工事という部分では、やはりこちらの予備費対応というものをまず考えております。この中で予備費を超える金額で、どうしても工事が行わなければならないということになりますと、応急処置的なものをやりながら、本復旧に対しては、補正等をかけて行っていきたいと考えております。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。先程の山田委員の質問のお答えで補足させていただきます。予算書の243ページの1番の経常的一般管理の下に保険料というのがございます。こちらの保険料というのは、今、山田委員に言われた、下水道の管が潰れて道路が陥没したというときには、町で保険に入っております。最悪、もし持ち出した分で、保険で対応できることも、うちも考えております。

以上になります。

○委員長（菊川敬人）

山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番委員、山田貴弘です。初めて知ったんですけれども、そういう財産に対する保険ということでかけていたのかなということで、そうすると、下水もそうなんですけれども、水道管も同じような類似になっていると思うんですけれども、そこら辺なども万全にやられているのか。これは水道会計などを見ると、企業会計にはなるのですけれども、緊急用工事費ということで、今年度について、100万円ぐらいの予算が計上されているというところで、緊急的な部分は予算項目をとっているのに、下水道ではとっていないので、そこら辺の会計的な部分でどのような考え方を持っているのかなということで、根本は聞きたかったんですけれども、保険に入っておられるというのであれば、それはそれで賄えられるのかという認識で今日の質疑の中では良いプラスをもらいました。

○委員長（菊川敬人）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（芳山 忠）

予算の計上の関係ですけれども、御質問でございますので、お答えさせていただきます。基本的には、先程、課長答弁のように、予備費で対応させていただきますが、その状況によって、それが大規模にわたる場合には、当然のことながら、通年議会でございますので、議会に計上させていただいて、補正を手当するということとなります。その科目につきましては、公共下水道事業費になるか、あるいは内容によっては、災害復旧になるか、その辺の項目も一緒にあわせて補正予算として審議をいただくということになるかと思えます。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

9番、井上です。予算書244ページ、245ページの下水道事業費、1番の公共下水道事業費、説明欄1の公共下水道事業費9,888万2,000円の6、7項目めのところに、国庫補助対象事業の工事とそれから町負担の工事、まだ数字は現時点では入っていないようなんですけれども、今年度、この工事が完成した後ですけれども、そうすると、開成町の現在の下水道の町内のエリアとしては、どのくらい下水道管がある、カバーさせるようになるのでしょうか。大体でいいですけれども、どのくらいのカバーが完了するのでしょうか。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。今の御質問にお答えさせていただきたいと思えます。29年度でどのくらいの整備が終わるのかというお話になるかと思えます。現在、町

は全体計画、面積でいきますと、308ヘクタール、岡野、金井島も全部含めて入っております。そのうち来年終わりで、240ヘクタールちょっとぐらいの整備が終わるといふことで、約64%程度の整備が終わるといふことになります。

下水道の管がどのぐらい整備されたかといふと、約57キロちょっとぐらい整備が終わるところになります。

以上になります。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

それでは、岡野、金井島の上まで、開成町が全体的に下水道管整備されるといふのはおよそですけれども、何十年先になるんですか。何年ぐらい未来になるのでしょうか。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道工務担当副主幹（加藤康智）

上下水道課の加藤と申します。今の御質問にお答えさせていただきます。

現在開成町は、まずは市街化区域を優先して整備をして、その後、人口が、住宅が密集している地区を整備していきたいと思っております。まだ、岡野、金井島につきまして、下水道整備は、5年で事業の認可をいただいてやっていますので、認可にもまだ入っていないところになります。ですから、いつ頃といふのはまだ先になりますので、お答えできないところでございます。

○委員長（菊川敬人）

井上委員。

○9番（井上三史）

すみません。なぜ、このような質問をさせていただいたかといふますと、実は開成町は昔、農村地帯から発展してきて、どうしてもそういう農村地域から人口が増えていって、様々な建物等が出てきますと、なかなか整備が計画どおりいかないという宿命を実は開成町は持っておりまして、その中でもう一つ開成町の持っている宿命は、農業用水路と生活用水路のどうしても混在といふのでしょうか。一つの水路を両方で使わなければいけない。そうすると、きれいな水とか、きれいな川の流れといふのを求める町民といふのがどうしてもいるわけですよ。そうすると、下水道が完備されている町こそ、きれいな水を確保することができる。そういう意味で、下水道の完備といふのは大切なことだと思っております。また、人間が生活して生きていまして、どうしても水を汚してしまう。その汚した水を普通の川に流していいかどうか。やはり人間の責任として、汚した水は、人間がきちんときれいにして、自然に返す。これが下水道の最も大事な目標ではないかなと、こう考えておりましたので、今のような説明をさせていただいたわけですけれども。

あとはぜひ、下水道管が整備されているところで、まだ接続をしていないところが

どうしてもまだあるわけですがけれども、これは費用的な面もありますので、なかなか強い行政指導はできないとは思いますがけれども、しかし、人間が汚した水は、きれいにして戻しましょうねという、この大事なものをぜひ説明していただいて、可能な限り、下水道に接続する方が1軒でも増えるという努力、ぜひ続けていただきたいと思います。

○委員長（菊川敬人）

上下水道課副主幹。

○上下水道課上下水道管理担当副主幹（川口浩一）

上下水道課、川口です。今のお話にお答えしたいと思います。普及率の向上というお話が出ましたので、上下水道課の今年度の取り組みについて御説明させていただきます。

平成27年度までは、通知で、下水道への接続の依頼をさせていただいておりました。それでも、なかなか成果が得られないということで、平成28年度から直接、未接続者のお宅に訪問をして、接続の依頼をさせていただいているところでございます。それに伴って、どういった理由で接続できないのか。接続の予定等も聞きながら、接続について促しているところでございます。

今後も普及率向上のために訪問をして、お願いをしていくというようなことは続けてまいりたいと思います。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

そのほかに質疑はございませんか。よろしいですか。

（「異議なし」という者多数）

○委員長（菊川敬人）

では、以上で、議案第15号 平成29年度開成町下水道事業特別会計予算について、質疑を終了します。